

承認番号	2020-019
研究課題名	DCA (Directional Coronary Atherectomy: 方向性冠動脈粥腫切除術)によって得られた冠動脈プラーク組織と各種生体内プラークイメージングとの比較
研究の意義・目的	急性心筋梗塞を発症する不安定プラークの特徴は、病理学的に内腔の血栓形成やプラーク内出血であると報告されています。臨床現場においてさまざまな血管内イメージングやMRIで冠動脈プラークを観察することが可能となってきていますが、病理組織を直接比較した研究は少なく、その正確性は不明であります。本研究では、通常診療で経皮的冠動脈インターベンション法の一つであるDCAにより得られた組織標本を用いて、種々のイメージングにて同定された生体内プラークと組織を比較することです。
研究を行う期間	承認後 ～ 2023年12月31日
研究対象者の範囲	2017年5月29日～2020年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院の循環器内科で、冠動脈疾患の治療のためにDCAを受けられた方が対象です。
お願いする内容	<input type="checkbox"/> 大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします <input type="checkbox"/> 共同研究機関に頂いた試料・情報を提供します。 当院にてDCAが施行された患者さんに対して、通常臨床で使用したMRI、および血管内イメージングとDCAで得られた組織とを比較検討させていただきます。組織に関しては共同研究機関である大阪市立総合医療センターで染色・解析させていただきます。本研究は患者さんのためにもっとも適切な医療を提供した結果として得られた下記の診療情報・試料を利用させていただきます。
	血液検査データ、採取されたプラーク組織、心臓カテーテル検査データ、プラークイメージング検査結果、診療記録等
頂いた試料・情報の提供方法	共同研究機関である大阪市立総合医療センターには特定の個人を識別できない形で提供します。 大阪市立大学医学部附属病院では、社会的に重要性の高い研究のため匿名化せず試料・情報を利用させていただきます。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学 職名：教授 氏名：葭山 稔
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学 職名：教授 氏名：葭山 稔 大阪市立総合医療センター病院循環器内科 職名：部長 氏名：成子 隆彦
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/heart/index.html
研究の成果を公表する方法	学会・論文などで公表します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学 講師 江原 省一が直接対応いたします。電話番号 06-6645-3801（大阪市立大学 循環器内科学医局）